

竹原市収受号
竹第号
27.4.-9
年月日
資料様式第3号

局長	次長	係長	職員
印	印	印	印

会派（視察・調査・研修）結果報告書

平成27年4月9日

会派名 民政同志会

代表者名 山元 経穂



視察・調査場所	大阪府大阪市東淀川区東中島 新大阪丸ビル別館
期日	平成27年3月30日（月）～31日（火）
経費	116,464円
参加者氏名	井上 美津子、山元 経穂
視察・調査目的	講演や講義による学習と情報収集
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>「教育改革」は家庭教育支援から切り込め 講師 一般社団法人 家庭教育支援センター ペアレンツキャンプ 水野 達郎</p> <p>3月30日 講義 家庭教育行政の実際 ～ケーススタディと改善策～ ・未然予防としての家庭教育支援 ・地方議員としての問題意識 ・現状の家庭教育支援の問題点と改善点</p> <p>3月31日 講義 地域資源を活用した新しい家庭境域支援のカタチ ～子どもをとりまく隙間を埋める～ ・中間支援の重要性 ・家庭教育支援チームの実際 ・文科省が考える家庭教育支援チームの役割とは</p>
効果・成果等	<p>1日目の講演では不登校を分析すると未然予防が必要となり、子どもの自立や社会性の基礎を築く「家庭教育支援」の充実を目指すこと。家庭教育の予算や事業等についてや、4月1日からの教育委員会の新制度について、家庭教育支援行政においての問題点や改善策について話を聞きました。2日目は、地域資源を活用した家庭教育支援チームについて話を聞きました。</p> <p>これからの教育には、学校地域との連携も必要ですが、核となる家庭教育の支援が重要であり、家庭教育支援チームで支援をしていくべきだと感じ、今後の一般質問に反映させていきたいと思ひます。</p>